

# 子どもの森づくり通信

(発行: NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク)

「子どもの森づくり運動」  
フラグシップ園会報  
(2012年4月号)

〒144-0054 東京都大田区新蒲田1-10-4 tel:03-5711-0362 fax:03-5711-2264  
http://www.kodomono-mori.net E-mail:info@kodomono-mori.net

「子どもの森づくり運動」とご縁をもたせていただいた方々に、活動情報をお送りさせていただいております。ご意見など賜れば幸いです。



新緑の季節を迎え、事務局のどんぐりが芽吹きました。  
今年も、また新しい活動が始まります。

(目次)

1. 「JP子どもの森づくり運動」2012年度の活動
2. 事務局からのお知らせ

## ■「子どもの森づくり運動」とは

今子どもたちは、高度な情報化社会の中でバーチャルな環境に取り囲まれ、本物の自然体験活動から遠ざけられています。しかし、子どもたち(特に幼少期の)は、変化に富んだ自然体験活動の中でこそ、五感を通じて豊かな感性や健全な環境意識、そして子ども本来の生きる力を育みます。「子どもの森づくり運動」は、全国の保育園・幼稚園を拠点に一貫した森づくり活動を通じて、幼児期の子どもたちに「生きる力」と「健全な環境意識」を育むための自然体験活動と環境学習の場を提供しようという全国運動です。

## ■「JP子どもの森づくり運動」とは

特別ご協賛企業「日本郵政グループ」様との協働で、運動を全国に普及促進するフラグシップ活動を「JP子どもの森づくり運動」、フラグシップ活動実施園を「JP園」として活動を展開、2010年7月、フラグシップ園全国ネットワークが構築されました。

## ■「子どもの森づくり運動」運営体制

- ・運営 : NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク
- ・特別協賛 : 日本郵政グループ
- ・後援/協力 : (社)全国私立保育園連盟 (社)大谷保育協会  
(社)国土緑化推進機構 NPO法人C・C・C 富良野自然塾  
全国森林インストラクター会 NPO法人自然体験活動推進協議会  
NPO法人MORIMORI ネットワーク (社)日本オート・キャンプ協会  
(株)実業之日本社 月刊ガルヴィ編集部



## 1. 「JP子どもの森づくり運動」2012年度の活動

2012年度で、「子どもの森づくり運動」は5年目を迎えました。事務局としては、2008年度の活動開始以来、当運動の活動意義はますます高まっていると認識しており、これからも活動の継続や展開に向けてフラグシップ園の皆様と共に協働させていただきたいと思っております。下記に、今年度の事務局としての活動サポートや、新しい活動テーマについて提案させていただきました。ご意見賜れば幸いです。どうぞよろしくお願い申し上げます。

### 1) 活動サポート

#### ① 植樹活動サポート

2012年度、全国で12園のフラグシップ園の植樹活動が実施されます。

事務局では、地元メディアへの活動リリース等、丁寧なサポート体制でバックアップします。

#### ② 活動継続サポート

さらに、植樹完了後も活動のリポートや植樹された苗木の見守り活動を実施しておられる実施園について、活動に対する情報提供やホームページを中心としたこまめなレポートを実施します。

#### ③ 実施園の交流サポート

フラグシップ園相互の情報交換や交流を深めるために、Facebook の活用やブロック別研修会(別紙参照)を実施します。

### 2) 「東北復興グリーンウェイブ」の提案

「子どもの森づくり運動」の森づくり活動を通じて取り組む「東北復興グリーンウェイブ」のご提案です。

2012年度の秋に、①東北のフラグシップ園を中心に被災地のどんぐりを拾い、②全国のフラグシップ園が苗木に育て、③ 将来的に不足が懸念される被災地に苗木を送り、そのグリーンウェイブ(緑化)に寄与する活動です。

この活動を通じて、①被災地の子どもたちと全国のフラグシップ園の子どもたちを繋ぎ、もって震災以降の日本を生きていく子どもたちが共有すべき「絆」の心の涵養を目指します。②さらに東北のどんぐりから苗木を育て、東北に植樹する仕組みの活動として、被災地の遺伝子の攪乱を防ぎます。事務局としては、本活動を「子どもの森づくり運動」の震災以降の新しいミッションとして取り組みたいと思っております。

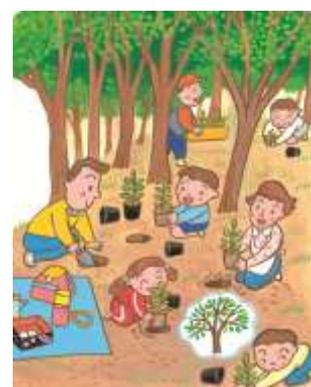
#### <子どもの森づくり運動「復興グリーンウェイブ」運営の流れ>



①2012年秋、フラグシップ園を中心に東北のどんぐりを拾います。



②どんぐりは、事務局にて放射能の検査後、「復興グリーンウェイブ」参加園に送られ、2014年春まで苗木に育てていただきます。



③2014年春、被災地に送られ、復興グリーンウェイブ(緑化)に寄与します。

### 3)「子どもの森づくり運動」研修会2012のご案内

東北、関東、中部・北陸、九州の全国4ブロック(予定)にて、自然体験活動と環境学習、及び危機管理をテーマとする研修会を開催します。幼稚園・保育園の活動に、今もっとも求められる三つのテーマに対応する講座を用意しました。「本当に役立つ実用的な研修」を目標に、選りすぐりの講師にお願いしました。参加人数に限りがありますので、お問い合わせの上お早めにお申し込み下さい。(＊参加ご希望の方は、別紙パンフレットにてお申し込み下さい。)

#### <実施概要>

①主催:子森ネット

②実施日程(予定)

・近畿、北陸ブロック:2012年7月2日(月),3日(火) / 京都市「関西セミナーハウス」

・九州ブロック:2012年9月 ・東北ブロック:2012年10月～11月 ・関東ブロック:2013年2月

③活動テーマ

①

子どもたちの生きる力と  
豊かな資質を育む  
「自然体験活動」

②

環境の時代を生きていく  
子どもたちのための  
「環境学習活動」

③

東日本大震災を踏まえて  
緊急に求められる  
「危機管理」

④講師紹介、及び講師からのメッセージ

		
<p>&lt;危機管理&gt; <b>鎌田修広氏</b> (株)タフ・ジャパン 代表</p> <p>防災には、日頃の備えや避難訓練が大事・・・大震災が起こると誰もがそう思います。今こそ子どもの命を預かるプロとして最善を尽くすために「一歩前進」しませんか？</p>	<p>&lt;自然体験・環境学習講座①&gt; <b>大石康彦氏</b> (独)森林総合研究所 多摩森林科学園 教育的資源研究グループ グループ長</p> <p>自然体験活動や環境学習は、幼少期の子どもたちの生きる力を育み、持続可能な社会の担い手になるタネを蒔いてくれます。その可能性を一緒に探りましょう。 (体験実習あり)</p>	<p>&lt;自然体験・環境学習講座②&gt; <b>河内和男氏</b> 「子森ネット」森づくりチームリーダー (森林インストラクター)</p> <p>全国の幼稚園、保育園における自然体験活動と環境学習の取組みとして、園児たちと「子どもの森づくり運動」を実践中。その活動の実際や園で簡単にできる森の工作等をご紹介します。 (体験実習あり)</p>

## 2. 事務局からのお知らせ

### ①ホームページへ園の活動情報をお送り下さい。

事務局ではホームページをプラトホームに、実施園同士の交流を深めていただければと思っております。そこで、森づくり活動に限らず園におけるいろいろな行事や体験活動をご紹介させていただきたいと思っておりますので、活動のレポートと写真をお送り下さい。



●活動情報送信先: [info@kodomonono-mori.net](mailto:info@kodomonono-mori.net) または FAX:03-5711-2264

### ②ホームページに新しい機能が追加されました。

ホームページに、「フェイスブック」「google+」「ツイッター」の機能が追加されました。「いいね！」やツイートでの情報拡散にご協力下さい。

### ③第7回 ロハスデザイン大賞2012にエントリーしました。

「子どもの森づくり運動」が、ロハスな「ヒト」「モノ」「コト」を審査する「ロハスデザイン大賞」(主催:ロハスクラブ)の「コト」部門にエントリーしました。是非、個人メンバーにご登録(無料)いただき、審査にご参加下さい。詳細は、下記ホームページをご参照願います。



●ロハスデザイン大賞2012 ⇒ <http://www.lohasclub.jp/>

●「子どもの森づくり運動」エントリー内容

(ロハスデザイン大賞 ⇒ 公募エントリー一覧 ⇒ コト部門 ⇒ エントリーNO:029)

### ④「グリーンウェイブ」植樹活動のご案内

「子どもの森づくり運動」では、子どもたちの植樹活動を世界の子どもたちの環境活動に繋げることを目的に、「グリーンウェイブ2012」に参加します。「グリーンウェイブ」とは、生物多様性条約事務局が全世界に参加を呼び掛けているもので、国連の定める「生物多様性の日」に世界各地で子どもたちが植樹を行うことによりその行動が地球上を東から西へと波のように広がっていく、つまり「緑の波(グリーンウェイブ)」をつくるという世界の子どもたちの環境活動です。日本では2012年3月1日より6月15日までの期間が「グリーンウェイブ」の活動期間となっております。一回目の植樹活動、さらに二回目以降の植樹活動として、上記期間に植樹活動の予定があれば事務局までご連絡下さい。参加にあたり、実施園個別の手続きは必要ありません。